

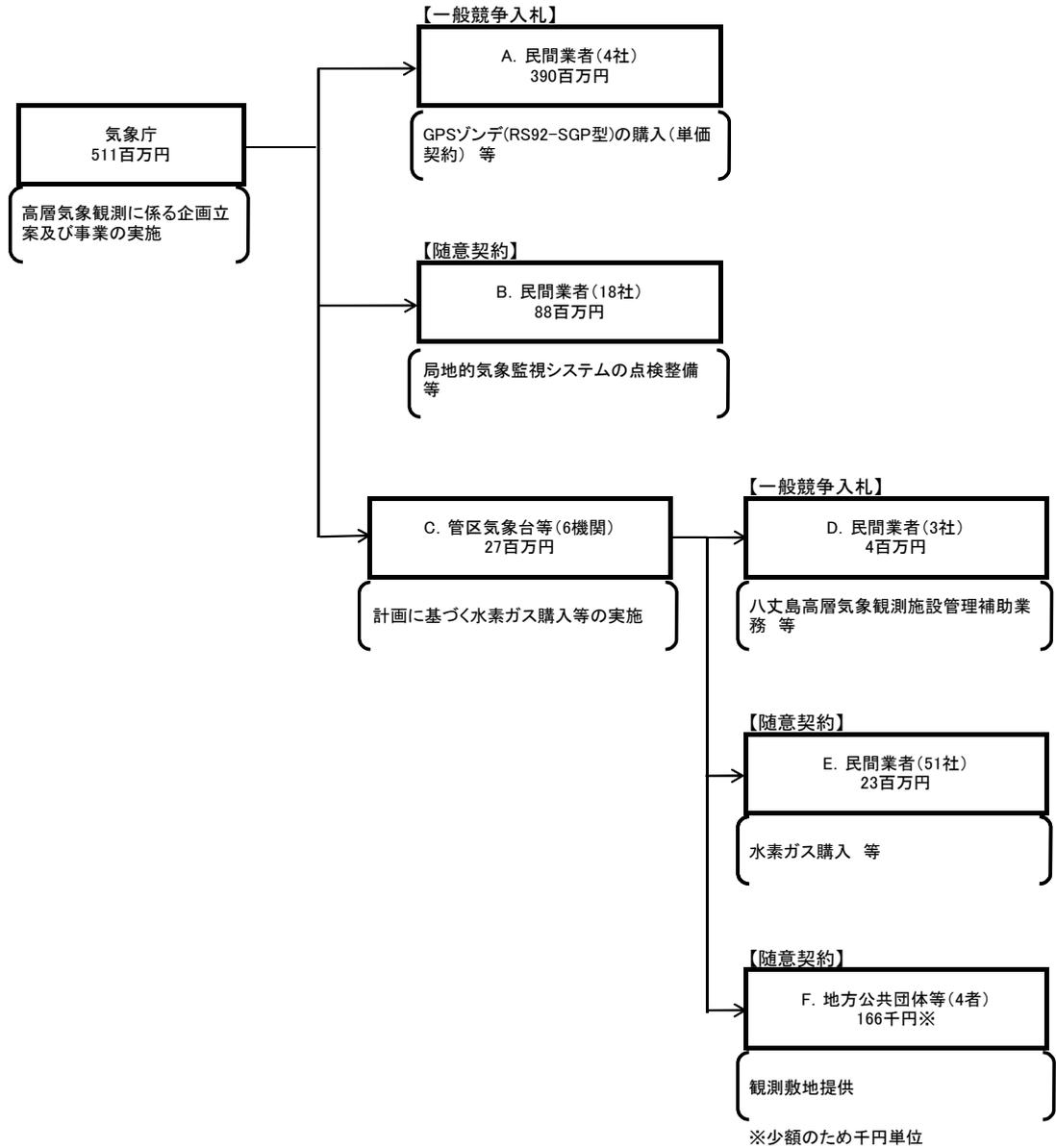
平成25年行政事業レビューシート

(国土交通省)

事業名	高層気象観測	担当部局庁	気象庁観測部	作成責任者				
事業開始・終了(予定)年度	昭和31年度～	担当課室	観測課	課長 大島 広美				
会計区分	一般会計	政策・施策名	4 水害等災害による被害の軽減 10 自然災害等による被害を軽減するため、気象情報等の提供及び観測・通信体制を充実する					
根拠法令 (具体的な条項も記載)	気象業務法(第3条、第4条 他) 災害対策基本法(第3条、第8条)	関係する計画、通知等	防災基本計画(昭和38年策定) 世界気象監視計画(WMO策定、昭和38年開始)					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	上空の気温、湿度、気圧、風向風速を観測し、大気の立体的な状態(構造)を把握することにより、適切な気象予報・警報等の作成を行い、気象災害の防止・軽減を図る。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	全国14ヶ所において、世界気象機関(WMO)の指針に従い、観測測器(ラジオゾンデ)を取り付けた気球を1日2回(9時及び21時)飛揚することにより、上空30kmまでの大気の気温、湿度、気圧、風向風速を観測する。観測成果は、気象予報・警報等の作成に利用するとともに、世界の気象機関に提供する。 また、全国33ヶ所において、世界気象機関(WMO)の指針に従い、ウインドプロファイラにより、電波を利用して10分ごとに300mの高度間隔で上空5km程度までの風向風速を観測する。観測成果は、気象予報・警報等の作成に利用するとともに、世界の気象機関に提供する。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求		
	当初予算	537	512	511	484			
	補正予算	0	0※1	3,685	0			
	繰越し等	0	0	-3,685	3,685			
	計	537	512	511	4,170			
	執行額	537	511	511				
執行率(%)	100%	100%	100%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)	
	72時間先の台風中心位置の予報誤差(過去5年の平均)を平成27年までに260kmとする。	成果実績	km	302	305	314	260 (27年度)	
		達成度	%	86	85	83		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込	
	ラジオゾンデ観測地点数	活動実績 (当初見込み)	ヶ所	14	14	14	14	
	ラジオゾンデ観測回数		回/日	28	28	28	28	
	ウインドプロファイラ観測地点数		ヶ所	31	33	33	33	
	ウインドプロファイラ観測回数		回/日	4,464	4,752	4,752	4,752	
単位当たりコスト	0.3 (千円/高層気象観測回数)		算出根拠	24年度執行額/24年度活動実績				
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	職員旅費	6						
	観測予報庁費	478						
	土地建物借料	0.2						
	計	484	0					

事業所管部局による点検						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費 必要性 投入の	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。		○	・高層気象観測は、台風をはじめとする気象現象を的確に予測し、適切な気象予報・警報等の作成を行うために不可欠な観測であり、国民のニーズは高く、政策の優先度の高い事業である。 ・台風等による被害を軽減するためには、国が責任をもって情報を提供する必要があるとともに、日本全域を覆う観測網の整備・運用が必要であるため、国が行うべき事業である。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○			
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。		○			
事業の 効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	・消耗機材の調達に当たり、一括調達の実施、数量の見直し、競争性を向上するための調達方法の見直しを行うなど、コスト削減や調達の競争性の確保に努めている。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		-			
	単位当たりコストの水準は妥当か。		○			
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○			
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		-			
事業の 有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	・高層気象観測は、大気の立体的な状態(構造)を把握する最も効果的な方法であり、適切な気象予報・警報等の作成を行うために不可欠な観測である。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○			
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○			
重複 排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	事業番号	類似事業名	所管府省・部局名			
点 検 結 果	<p>高層気象観測は、大気の立体的な状態(構造)を把握する最も効果的な方法であり、適切な気象予報・警報等の作成を行うために不可欠な観測であることから、引き続き、継続的に実施する必要がある。 また、消耗機材の調達に当たり、一括調達の実施、数量の見直し、競争性を向上するための調達方法の見直しを行うなど、効率的、効果的な予算執行に努めている。</p>					
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
<p>・財務省の予算執行調査(平成22年度)において、以下の指摘を受けている。 「(56)高層気象観測業務に要する消耗観測機材 1. 調査結果を踏まえた消耗観測機材の数量削減 ①「再観測」について、ABL※サイトは非ABLサイトに比べ、自動放球のため再観測率が高いという結果になっていることから、ABL・非ABL一律の係数による予算積算を見直し、各サイトの再観測の実施状況等を勘案した数量算定を行うことにより予算の節減を図るべきである。 ②「臨時観測」は、主に、“台風”を要因として観測を実施しているものであるが、台風の上陸等は地域によってはばらつきがあることから、現在の全国一律の数量算定を見直し、各サイトの臨時観測の実施状況を勘案した数量算定を行うことにより予算の節減を図るべきである。 2. 観測点の見直し 中長期的には、今後の気象衛星や観測機器等の高度化等も見極めつつ、観測地点数の見直しについても検討すべきである。 ※ABL→Automatic Balloon Launcherの略。自動で観測気球を放球する施設。」</p> <p>・これらの指摘に対し、以下の回答をしている。 ○「再観測」(ゾンデの不良や放球の失敗等に起因する信頼性の低い観測データの取得時等に実施)について、各サイトの再観測の実績回数に応じた予算積算に見直しを行った。 ○「臨時観測」(台風その他異常気象により本邦に重大な災害をもたらす恐れがあると予想される場合に実施)について、台風の接近実績等に応じた予算積算に見直しを行った。 (平成23年度予算への反映額▲25,002千円)</p> <p>・さらに、その後、消耗機材の調達に当たり、競争性を向上するための調達方法の見直しを行っている。 (平成25年度予算への反映額▲24,108千円)</p> <p>※1 平成23年度補正予算(東日本大震災関連)により、被災地域(2ヶ所)におけるウインドプロファイラの配置のために360百万円が措置されている。</p>						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
	平成22年	468	平成23年	500	平成24年	500

※平成24年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



旅費
6百万円

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位: 百万円)

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

A.三興通商(株)			E.北海道エア・ウォーター(株)		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入	GPSゾンデ(RS92-SGP型)の購入(単価契約)	224	物品購入	水素ガス購入 等	3
			雑役務費	水素ガス容器再検査 等	3
計		224	計		6
B.西菱電機(株)			F.鳥取県鳥取港湾事務所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	局地的気象観測システムの点検整備 等	39	借料及び損料	鳥取地方気象台鳥取局地的気象監視システム敷地借料	0.104
計		39	計		0.104
C.札幌管区気象台			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入	水素ガス購入 等	3			
雑役務費	集合型GPS高層気象観測システム修理等	8			
工事	水素ガス設備配水管修繕工事	0.004			
計		11.004	計		0
D.八丈島空港ターミナルビル(株)			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
雑役務費	八丈島高層気象観測施設管理補助業務	2			
計		2	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	三興通商(株)	GPSゾンデ(RS92-SGP型)の購入(単価契約)	224	1	100
2	明星電気(株)	GPSゾンデ(RS-06G型)の購入(単価契約)等 ※	76	1	99.91
3	トーテックス(株)	ノズル付パラシュート内蔵型ゴム気球他購入(単価契約)	53	2	99.6
4	(株)気球製作所	600gゴム気球他の製作(単価契約)	37	2	99.7
5					
6					
7					
8					
9					
10					

※複数の案件のうち、支出額が最も大きいものの業務概要、入札者数、落札率を記載した。

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	西菱電機(株)	局地的気象監視システムの点検整備等	39	随意契約	
2	アタカ大機(株)	水素ガス供給設備(釧路他)点検整備	12	随意契約	
3	NECキャピタルソリューション(株)	集合型GPS高層気象観測システムの借用	11	随意契約	
4	三興通商(株)	集合型GPS高層気象観測システム(釧路他)の点検整備等	9	随意契約	
5	明星電気(株)	集合型GPS高層気象観測システム(名瀬)の改修等	8	随意契約	
6	(株)鈴木商館	名瀬測候所水素ガス供給システム点検整備等	3	随意契約	
7	昭和化工(株)	気象観測用パラシュート他の製作(単価契約)	2	随意契約	
8	三菱スペース・ソフトウェア(株)	高層気象観測データ統合処理システムの点検整備等	1	随意契約	
9	荏原実業(株)	地上オゾン濃度計定期保守点検等	1	随意契約	
10	田中商店	気象観測用雨天パラシュート他の製作(単価契約)	0.7	随意契約	

C.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	札幌管区気象台	水素ガス購入等	11		
2	福岡管区気象台	鹿児島地方気象台高層気象観測装置機器移設等工事等	6		
3	東京管区気象台	八丈島高層気象観測施設管理補助業務等	4		
4	大阪管区気象台	潮岬高層気象観測施設管理補助業務等	2		
5	仙台管区気象台	水素ガス購入等	2		
6	沖縄気象台	集合型GPS高層気象観測施設の故障修理等	2		
7					
8					
9					
10					

D.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	八丈島空港ターミナル(株)	八丈島高層気象観測施設管理補助業務	2	2	71.2
2	和歌山警備保障(株)	潮岬高層気象観測施設管理補助業務	1	1	100
3	(有)環境リサーチ	輪島高層気象観測施設管理補助業務	1	2	82.6
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

E.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	北海道エア・ウォーター(株)	水素ガス購入 等	6	随意契約	
2	アタカ大機(株)	水素ガス供給設備の緊急保守点検 等	3	随意契約	
3	三興通商(株)	集合型GPS高層気象観測システム高層用地上気象観測装置修理 等	3	随意契約	
4	豊前高圧ガス(株)	水素ガス購入 等	2	随意契約	
5	太平熔材(株)	水素ガス購入 等	1	随意契約	
6	明星電気(株)	名瀬測候所集合型GPS高層気象観測システム修理 等	1	随意契約	
7	芝浦電子工業(株)	鹿児島地方気象台高層気象観測装置機器移設等工事	1	随意契約	
8	伊藤忠工業ガス(株)	水素ガス購入 等	1	随意契約	
9	(株)金石組	高層気象観測放球場除排雪業務 等	0.492	随意契約	
10	新成建設(株)	WPRクラッターフェンス塗装補修	0.368	随意契約	

F.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	鳥取県鳥取港事務所	鳥取地方気象台鳥取局地的気象監視システム敷地借料	0.104	随意契約	
2	鹿児島県	屋久島局地的気象監視システム用地借料	0.049	随意契約	
3	いちき串木野市	市来局地的気象監視システム用地借料	0.01	随意契約	
4	九州森林管理局	厳原局地的気象監視システム用地借料	0.003	随意契約	
5					
6					
7					
8					
9					
10					